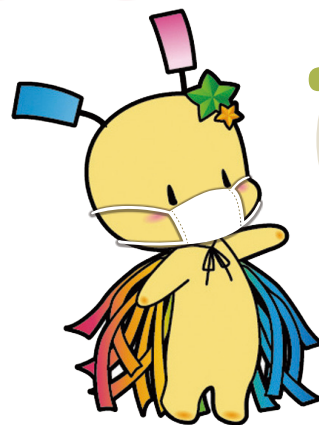




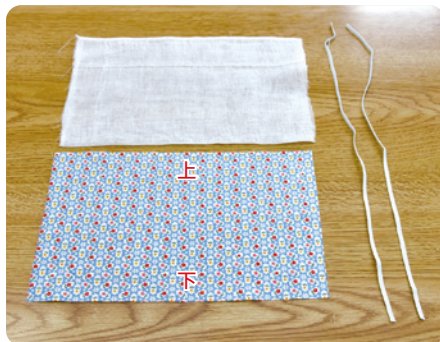
おうちでマスクを作ってみよう!

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、市販のマスクが手に入りにくい状態が続いています。今回は、狭山市社会福祉協議会で作成している布マスクの作り方をご紹介します。ミシンがなければ手縫いでも作成することができます。

材料(大人用)

- 布 (24cm×15cm)
- ガーゼ (24cm×15cm)
- ゴム2本 (長さ:35cm)

※長めに準備してあります



両脇をそれぞれ、端から1cmくらいのところを縫う。プリーツが固定されます。



作り方



布の表にガーゼを重ねて、上下を縫う(端から1cmくらいのところ)。



両脇をそれぞれ、2回折り、筒状に縫う。アイロンをかけると縫いやすくなります。



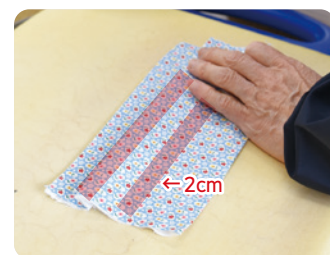
内側を表に返して、上下を縫う(端から5mmくらいのところ)。☆アイロンをかけると縫いやすくなります



筒状になっている部分にゴムを通し、ゴムの長さを調節して結ぶ。☆結び目は筒状の中に入れてと邪魔になりません



2cmくらいずつ折ってプリーツ(折り目)を作る。アイロンをかけて、プリーツをしっかりと付ける。



完成



市内企業などが新型コロナウイルス感染症対策に協力

小学校などに消毒液を支援

4月15日(木)、市は市内企業の東亜ディーケーケー株式会社から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための、消毒液500リットルの支援を受けました。

当日は同社の社長が山王小学校を訪れ、消毒液を進呈。校長は感謝の気持ちを伝えると共に、「人と人のつながりの大切さを、子どもたちにも伝えていきたい」と述べました。臨時休校中に自宅で一人で過ごせない小学1・2年生を預かっている小学校15校や、学童保育室16か所、保育所9か所に配付し、感染防止に役立てていきます。

問合せ 産業振興課へ内線2553



妊婦さんに手作りマスクをプレゼント

市では、4月14日(火)から妊娠の届け出をした妊婦さんに、手作りのマスクをプレゼントしています。

プレゼントされるマスクは、マスクの調達が難しい中、妊婦さんの不安を和らげたいと市民ボランティアと狭山市社会福祉協議会の職員が材料を持ち寄り、作成しているものです。

妊娠の届け出の窓口は、市役所1階の母子健康手帳窓口と保健センター3階です。どちらの窓口で届け出をされても、手作りのマスクを受け取れます。

問合せ 保健センターへ☎2959-5811



軽症の感染者搬送を支援

4月17日(金)、本田技研工業株式会社から埼玉県に、新型コロナウイルス感染者(軽症者)搬送用車両が貸与されました。この車両は狭山工場などで製造されたもので、後部座席に乘せた感染者から運転者への感染リスクを減らすように仕立てた車両です。狭山保健所にも配置され、今後台数が増加されていく予定です。

問合せ 産業振興課へ内線2553



▲運転席、助手席と後部座席が分断された車内

ONE for All 市長が走る! ④

この危機を乗り越えましょう!

今月号の広報さやまではそれぞれの立場で新型コロナウイルスと闘っている人々に焦点を当てました。いつ終わるとも分からない現状を1日も早く収束させるべく、前向きにご尽力いただいている皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。特に最前線にいる医療関係者、保健所の方々などは連日、不眠不休での対応と伺いました。

こうした皆さんのご努力によって、諸外国のような状況には至ってありませんが、私たちもさらに

危機意識を高めていかなければなりません。

まず、第一に感染の拡大を食い止めること。そのために、できる限りのことをやっていきましょう。第二に感染が収束へ向かう段階においては、再度の感染拡大に注意しながら最速で経済活動を復活させるべく、協力していきましょう。第三に危機が去った後には、今回の危機を教訓とし、自助、共助、公助をもう一度見つめ直し、備えていきましょう。

狭山市の誇る自然が一番美しくなるこの時期に、外出を制限することは本当に厳しいと思います。しかし今が踏ん張り時ですので、一丸となって乗り越えましょう。



宝荘で手作りマスクを作りました

市長の主な動き

○4/1…辞令伝達式、臨時庁議 ○4/1…新型コロナウイルス感染症対策総括チーム打ち合わせ ○4/3・8…新型コロナウイルス感染症対策本部会議 ○4/9…定例庁議、狭山ケーブルテレビ「タウンニュース」収録 ○4/17…新型コロナウイルス感染症患者に係る埼玉県内の受入体制の整備に関する知事への要請 ○4/20…新型コロナウイルス感染症対策本部業務推進チームキックオフ

問合せ 狭山市社会福祉協議会へ ☎2954-0294